

## 「課題名：HER2 陽性乳癌患者における トラスツズマブ エムタンシン投与による有害事象の調査」について

### ○ 研究の意義・目的

カドサイラ<sup>®</sup>（トラスツズマブ エムタンシン）の副作用については、肝機能が悪くなる、血小板の減少、末梢神経障害などがあります。それらの副作用の症状によってはお薬の使用を控えることがあります。カドサイラ<sup>®</sup>は発売されてまもないお薬のため、長く使用していただくために、副作用の症状による使用の基準を考えていくことが必要です。今回、副作用の症状によるお薬の減量・休薬の参考になる基準を探すために、この研究を計画しました。

### ○ 研究対象者

平成 26 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日までに、広島大学病院乳腺外科診療科でカドサイラ<sup>®</sup>による治療を受けられた患者さんを対象とします。

### ○ 研究方法

本研究は、全て診療録（カルテ）情報を転記して行います。

カルテから転記する内容は身長、体重、性別、血液検査（白血球、血小板、肝機能）、医師・看護師による問診です。

（個人が特定出来る情報は転記しません）

### ○ 研究期間 委員会承認後～ 平成 31 年 3 月 31 日

### ○ 個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせください。

\* 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。

.....

お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5575

広島大学病院薬剤部 教授 松尾 裕彰（研究責任者）

薬剤師 須川 涼（担当者）